

令和3年12月23日  
中部地方整備局  
港湾空港部

## 伊勢湾への漂着に備え、漂流軽石の回収訓練を実施。

小笠原諸島（東京都）の海底火山「福德岡ノ場（ふくとくおかのば）」の噴火で発生したとみられる軽石が沖縄県及び鹿児島県島嶼部において漂流・漂着し、生活の足であるフェリーが欠航するなどの甚大な被害が発生しております。また、海洋開発研究機構（JAMSTEC）のシミュレーションや気象庁の黒潮蛇行予測により、12月下旬に伊勢湾への接近が懸念されています。そこで、国土交通省中部地方整備局では27日、伊勢湾に接近した場合に備えた軽石撤去・回収作業の模擬訓練を名古屋港内で行います。

訓練は、「漂流軽石回収技術検討ワーキンググループ」（国土交通省港湾局・水産庁）の検討結果を参考に、（一社）日本埋立浚渫協会中部支部の協力のもと、中部地方整備局が実施します。

1. 訓練日時 令和3年12月27日 10:00～（30分程度）（取材受付9:50）  
（予備日 令和3年12月28日 10:00～（30分程度）  
※入出港船舶の都合により、訓練の開始が遅れる場合があります。
2. 実施場所 弥富市楠3丁目26地先 弥富ふ頭前面海域（別添地図参照）
3. 実施者 国土交通省中部地方整備局
4. 協力 （一社）日本埋立浚渫協会中部支部
5. 実施内容 特製のかご型回収器具を使用した回収訓練  
2隻の船舶により、かご型回収器具を牽引し、軽石に模した浮遊物を回収します。  
（参考資料をご覧ください。）
6. 取材  
陸上又は船上から訓練の様子を取材頂くことが可能です。  
取材希望の場合は、【別紙】取材登録をご参照いただき、令和3年12月24日（金）17:00までにメールにてお申し込みください。  
※中止の場合、個別にご連絡させていただきますので、必ず申し込みをお願いします。
7. 配布先  
中部地方整備局記者クラブ、三重県政記者クラブ、中部専門記者会、港湾新聞社、  
港湾空港タイムス、日本海事新聞社、海事プレス、マリタイムデーリーニュース
8. 問い合わせ先  
中部地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課  
課長：飯田（いいた）、課長補佐：浅賀（あさか） 052-209-6328  
（休日）090-2180-1600

当日のお問い合わせ先

中部地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室

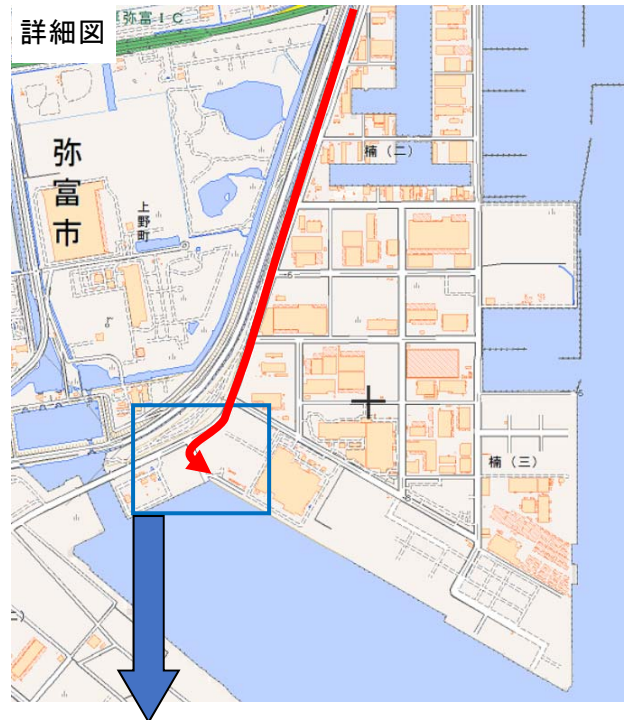
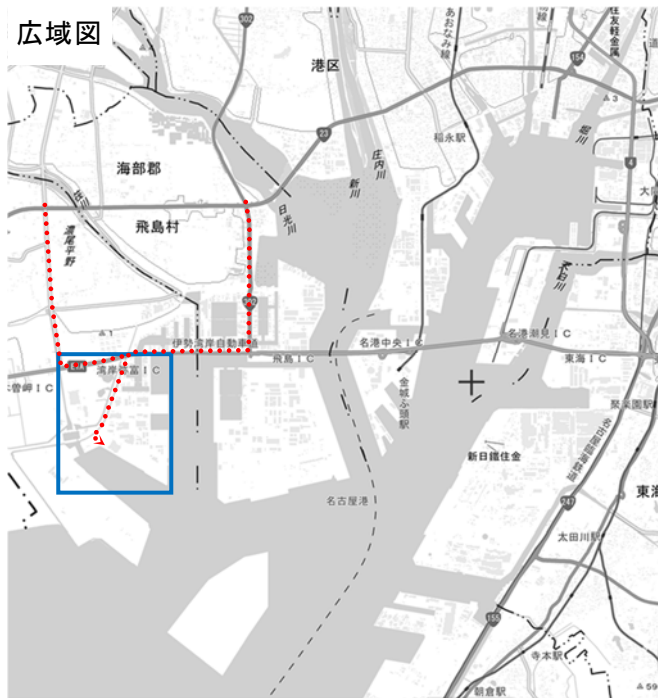
室長：林（はやし）、課長補佐：藤野（ふじの） 052-209-6330

# 集合場所案内

日時: 令和3年12月27日 (月) 10時00分~(30分程度)

場所: 名古屋港弥富ふ頭 (愛知県弥富市楠3-24)

※9時50分までに集合場所へお越しください。



弥富ふ頭集合場所(国土地理院地図使用)

メール送付先： [pa.cbr-bouki@mlit.go.jp](mailto:pa.cbr-bouki@mlit.go.jp)

(国土交通省中部地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課 宛)

## 取材登録

※取材を登録される場合は、事前に以下の記載事項を電子メールにて送付をお願いいたします。

### 【記載事項】

1. 報道機関名
2. 取材者
  - ① ご氏名
  - ② ご役職
  - ③ 人数（複数名の場合）
3. 連絡先
  - ① 電話番号
  - ② mail（中止連絡用）※記載が無い場合は電話にて連絡いたします。
  - ③ 取材当日に連絡可能な携帯電話番号（①と同一の場合は不要）

**※申込み締切：令和3年12月24日(金) 17時**

# 訓練のイメージ(沖縄県での実際の回収状況)

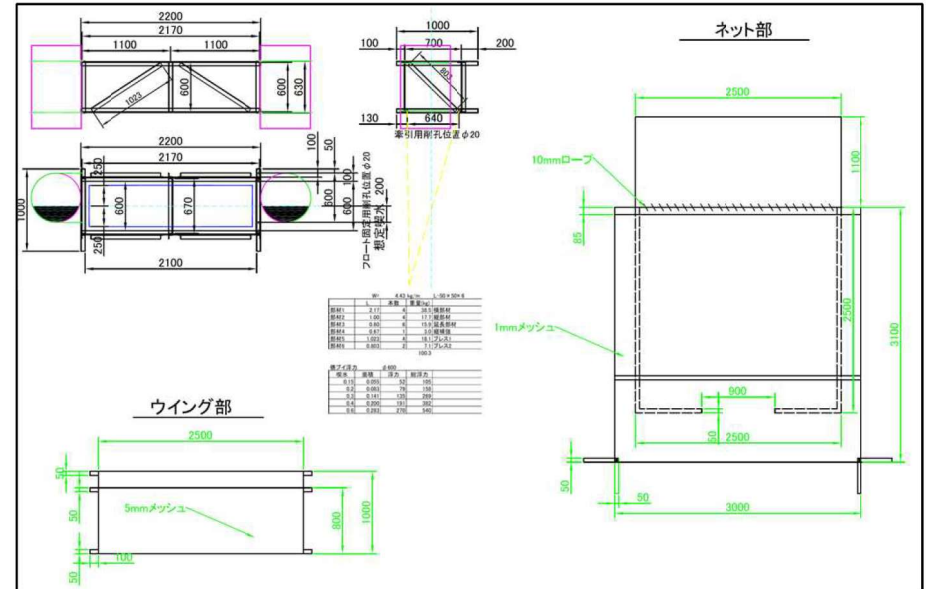


# ④小型船十回収器具

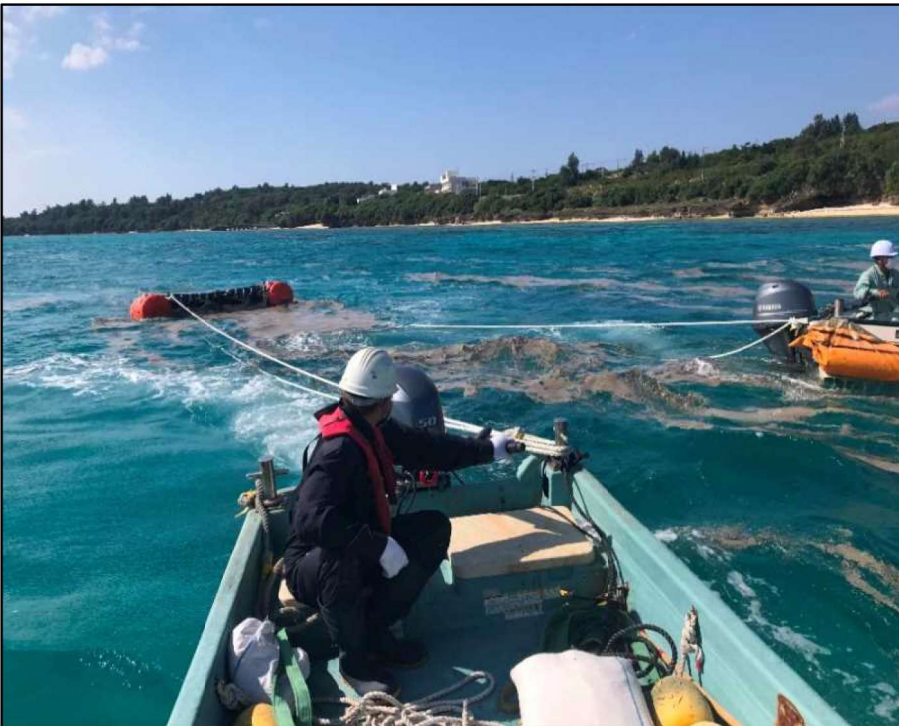
※漂流軽石の回収技術に関する取りまとめ  
 令和3年11月(国土交通省 港湾局 水産庁)抜粋  
[https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan\\_tk5\\_000045.html](https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk5_000045.html)

沖縄県 海域

参考写真①：回収器具の現物及び図面



参考写真②：回収器具による回収状況



参考写真③：揚収状況

